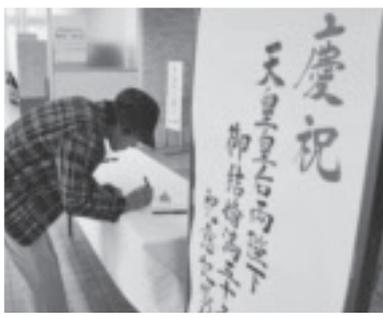




▲ご来市された思い出の写真や市報の記事などを見る市民



◀祝意記帳芳名録に記帳する市民

お祝いの言葉や心を胸に学校生活スタート！

市内の小中学校で入学式

市内の中学校で4月9日、小学校では10日、歓迎の心を込めた入学式がそれぞれで行われ、229人の中学生と197人の小学生が新しい学校生活をスタートさせました。

緑が丘小学校では、体育館で上級生や先生たちが44人の1年生を出迎え。言葉や歌に加え、手作りの桜や花のアーチで喜びを表現しました。

昔話をたとえに「せっせと自分を磨く子、がまんでできる子、真っ黒になってみんなで元気に遊ぶ子になってほしい」と話された片淵幹生校長の贈る言葉をはじめ、たくさんの「入学おめでとう」のメッセージに、新1年生は緊張しながらも、しっかりと胸に受け止め、これからの日々が楽しみな様子。友達と一緒に希望を胸に膨らませていました。



◀緑が丘小学校の入学式

天皇皇后両陛下のご結婚満50年に祝意

市役所ロビーに記帳所と写真展示

天皇皇后両陛下のご結婚満50年を祝い多久市では、4月4日から15日まで市役所ロビーに記帳所を設け、市内外から559人が記帳されました。これに合わせ、ご成婚に沸き立った当時や皇太子時代に初めて陛下が来市された写真などの展示や庁舎には市民の祝意を表す言葉を掲示しました。

ちょうど満50周年を迎えられた10日、記帳に訪れた女性2人は、「まだまだ普及していなかったテレビで幸せを分けていただきとうとうその様子を拝見しました。変わらぬ上品さで尊敬できるお二人です」と懐かしげに話し、祝意を表していました。

なお、みなさんの芳名録は、4月17日に横尾市長が宮内庁を訪れて、宮内庁長官に手渡しました。待従職の方から天皇皇后両陛下がご覧になられた旨の伝言がありました。

3/26

『たくさん館』の名付け親 「川口さん」に賞品



多久産の農畜産物を中心に扱うJAさが佐城支部直営の農産物直売所が多久駅南に3月27日にオープン。前日の落成式では、名称募集で『たくさん館』の名付け親となった川口嘉教さん（筋原）に、賞品の贈呈もありました。川口さんは「健康のために野菜中心の食生活に心掛けており、興味があり応募しました。採用されて嬉しい」と、喜びを語られました。

3/26

(株)多久製作所 九州工場第4工場が完成



東多久町出身の故・松本祐次郎氏が創業者の株式会社多久製作所（本社：東大阪市）の九州工場第4工場が同社敷地内に完成し、竣工式が行われました。時代が求める機能配管をトータルプロデュースし、チャレンジを続ける同社は、この完成により、配管総合フレームのトップメーカーとしての生産体制が整ったこととなります。南里保代表取締役は「地域密着で、地域に貢献できる企業を全社員一丸となって作り上げたい」と挨拶されました。